

多賀城市災害対策本部からのお知らせ

平成23(2011)年5月2日(月)午前9時発表

多賀城市内の被害状況

・死亡者	184名
(内訳)男性	112名
女性	72名
・行方不明者	4名
・避難者数	950名

菊地健次郎市長から

ゴールデンウィークの最中で、普段であれば明日から三連休となるところですが、職員にあっては、市民のために災害復興支援をよろしく願います。

先週の土曜日に歴史学者の平川南さん(国立歴史民俗博物館館長・山梨県立博物館館長・多賀城跡調査研究委員会委員)が来庁し、その際、貞観の大地震の話となりました。

前にもお話をしたとおり、貞観の大地震が発生した後、富士山が噴火したりしていますが、今回も3月11日の地震発生後、富士市で大きな余震がありました。

日本は地震列島で、いつ何が起きるか分からないということをいつも自覚しておく必要があると感じたところです。

5月3日(火)から仮設住宅の入居が開始し、また一歩前進したという感じがするので、さらに頑張ってまいります。

自衛隊から

入浴、給食等各種支援については、前日同様実施します。

5月5日(木)のこどもの日に文化センターにおいて開催される「文化センター復興こども祭り」に、自衛隊の音楽隊へ参加要請があり、山形から音楽隊が参加することとなりました。

宮城県から

宮城県災害対策本部会議については、毎日午前10時から開催されてきましたが、4月28日(木)から平日のみ開催となりました。ただし、災害対策本部は24時間態勢で対応します。

警察から

土曜日、日曜日は、多賀城市内において行方不明者の発見には至りませんでした。本日も継続して捜索活動を行います。

本日も県外からの応援を得ながら市内の治安維持のための巡回パトロールや交通誘導を行います。

消防署から

昨日は、3件救急搬送しました。
昨日も、危険物の回収を行いました。

消防団から

本日も自宅待機とします。

市役所から

応急仮設住宅の入居説明会を本日午前9時30分から市民活動サポートセンター3階で行います。

明日から45戸が入居可能となりますが、キャンセルも出されています。

民間賃貸住宅を応急仮設住宅と見なす手続きについては、本日から6階において開始しますが、「4月22日以前入居」の基準がなくなりました。

5月1日(日)から農業用水3系統を通水しました。

4月30日(土)現在、民有地の被災車両撤去については、全体の約30%に当たる847台を撤去しました。

二次避難として、5月1日(日)より11日(水)まで、静岡県伊豆の国市に19名が出発しました。第2陣は、5月12日(木)に25人が行く予定です。

1日当たりの平均配水量について、震災前は平均17,000トンでしたが、4月は平均14,166トンと減少しています。

5月3日(火)から加圧式給水車1台により職員2名が石巻市において給水支援を行います。

防災広報装置については、13台中12台が復旧しました。明月公園内に設置している1台については、NTT回線が復旧していないので使用できません。

総合相談窓口については、延べで新規3,397件、継続672件となりました。

なお、昨日の社会福祉協議会の小口融資相談は23件と減少傾向にあります。

昨日の災害ボランティア受付件数は320人で、その内訳は県内144人、

県外 176 人となっています。

また、ニーズ受付は 18 件、稼働件数は 36 件で、がれきや汚泥の片付けについてのニーズは減少しています。

雨水幹線のがれき、車両の撤去状況については、八幡雨水幹線が 79.1%、南雨水幹線が 35.7%となっています。

防災協による災害ごみの収集については、5月3日(火)から5日(木)までの3日間は休みとなります。

昨日も全国からたくさんの支援をいただきました。

本日、兵庫県篠山市長が来庁します。